

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: office@matsue-rotary.jp

第 3294 回例会 (令和 2 年 9 月 9 日・水)

今週のプログラム

9 月 9 日 (水) ゲストスピーチ

「松江市史編纂完了と
歴史まちづくりの考え方について」

松江市歴史まちづくり部 次長 ^{いなた} 稲田 ^{まこと} 信氏

次週のプログラム

9 月 16 日 (水) ゲストスピーチ

「松江城大解剖」

松江歴史館 主幹・学芸係長 ^{きのした} 木下 ^{まこと} 誠氏

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
9月10日(木)	米子中央	ANAクラウンプラザホテル
9月14日(月)	出雲中央	出雲ロイヤルホテル内事務局
9月21日(水)	大 社	出雲商工会(大社町杵築南1344)
9月24日(木)	松 江 東	ホテル一畑
9月24日(木)	米子中央	ANAクラウンプラザホテル
9月29日(火)	境 港	Asian Resort Dining 剎園
10月12日(月)	出雲中央	出雲ロイヤルホテル内事務局
10月13日(火)	出 雲	ホテル武志山荘
10月13日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
10月22日(木)	松 江 東	ホテル一畑
10月27日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
10月28日(水)	大 社	出雲商工会(大社町杵築南1344)

2020年9月の予定

- ※ 9月23日(水) 休会
- ※ 9月30日(水) 休会
- 10月 7 日(水) 定例理事会
- 10月17日(土)~18日(日) 地区大会
- 18日(日) 本会議 岡山国際ホテル
10:00~17:00 (予定)
- 本会議 I 10:00~
- 昼食・休憩 12:00
- 本会議 II 12:50
- 記念講演 15:00
JAXAシニアフェロー 川口淳一郎氏
演題「はやぶさ式思考法」で令和の日本を拓く
- 休 憩 16:20
- 本会議 III 16:35
- 閉 会 17:00
- ※交通手段 松江4クラブ貸切バス(予定)

●●●結婚月●●●

尾崎 俊也会員 1日 原 守中会員 3日

第3293回例会記録

令和 2 年 9 月 2 日 (水・晴れ)

会員数 63名
出席者数 42名
欠席者数 21名
出席率 75.00% (出席免除会員含む)
前々回補正 94.33%

■ビジター なし
■メーカーキャップ 田中、和田(松江南)、後藤、波多野、福田(松江しんじ湖)

会 務 報 告

内田会長

●「方面隊の概要等(災害派遣)」

自衛隊 島根地方協力本部
本部長 1等陸佐 ^{たかはしやうじ} 高橋洋二様
広報室広報係 2等空曹 ^{たかしまよしえ} 高島良江様

●新入会員のお知らせ

お名前: ^{やまさき とおる} 山崎 徹様
事業所: (株)山陰合同銀行 取締役頭取
職業分類: 商業銀行
推薦者: 櫻井誠己会員、原田光明会員
原田光明会員より紹介
^{やまさき とおる} 山崎 徹様 挨拶
名札とバッジお渡し

● 訃報のお知らせ

元会員 ^{いまむらよしろう}今村芳郎様が8月29日ご逝去されました。
謹んで哀悼の意を表しお知らせいたします。

● 島根県立大学から寄付に対する感謝状披露



杉原幹事

- 本日、ガバナー月信9月号と前年度最終月信配付。
- 本日例会終了後、定例理事会開催

委員会報告

- クラブ管理運営 親睦・出席委員会 木田会員
出席報告
- 乾会員より「エンディングノート」の紹介

プログラム

「方面隊の概要等（災害派遣）」

自衛隊 島根地方協力本部
本部長 1等陸佐 ^{たかはしようじ}高橋洋二氏



ニコニコ箱

35,000 円

- 内田、小林祥、紀野（高橋様のスピーチに。）
- 山崎（本日入会させて頂きました。宜しくお願いいたします。）
- 原田、今井、永通、中村（山崎様の入会を歓迎して。）
- 木村、佐藤、槇戸（山崎頭取の入会を祝して。）
- 錦織（①新入会員の山崎さんをお迎えして。②自衛隊高橋洋二本部長をお迎えして。今年は新型コロナの為にハートフルコンサートが出来ず残念です。）
- 舟越（①自衛隊の高橋様、高島様 本日はありがとうございます。②山崎頭取の入会をお祝いして。）
- 乾（「ひとこと随想」では『終活』に最適な『エンディングノート』をご紹介します。）
- 堀江（学校検診のため早退します。）
- 小村、堀江、大野、紀野（誕生月）
- 紀野、景山（出席100%賞）
- 天野（入会月）

ベストメッセージ賞：該当なし
司会 山本公司会場監督

【9月理事会報告】

承認事項

- ・退会会員承認の件
- ・新入会員推薦受付の件

報告事項

- ・地区大会登録人数、交通手段の件の件

ひとこと
随想

釈迦ヶ嶽雲右衛門・大相撲



小林 淳一

大相撲の島根県出身力士といえば、現役の隠岐の海関、松江市東出雲町出身の横綱陣幕久五郎（1829年～1903年）などの名前があがると思います。

釈迦ヶ嶽雲右衛門（1749年～1775年）という安来市出身の大関を知る人は、県内でも稀です。

釈迦ヶ嶽関は、松平不昧公のお抱え力士として江戸相撲の大関として活躍しましたが、若くして在位中に病没しました。

江戸時代の大相撲は、現代の大相撲とはいろいろと様子が異なっています。例えば、「くわせ関」（「食わせもの」の意）という実際には相撲は取らず、土俵入りで巨体を見せるだけの客寄せの看板だけの大関も多かったようです。ただ、釈迦ヶ嶽関は優勝相当の成績（当時は個人優勝制度はない。因みに、現在の個人優勝制度が確立したのは昭和3年。）が3回と相撲の実力も備わっており、当時の後桃園天皇に拝謁した記録があります。

釈迦ヶ嶽関は多くの錦絵にも描かれ、多くの逸話が残っているなど人気を博したのは、相撲の実力もさることながら、やはりその巨軀にもよったようです。身長は220cm超、体重は170kgと伝わっています。また、残された手形が約26cm、草履が約38cmです。江戸期の成人男子の平均身長が150cm台であった中で、文字通り「嶽」の如くの風貌だったのでしょう。

東京都江東区富岡八幡宮には、釈迦ヶ嶽の末弟の力士であり、現役引退後は松江藩の相撲頭取を務めた稲妻咲衛門（1754年～1838年）が建立

した釈迦ヶ嶽の等身碑があります。また、出身地の安来市大塚町にも稲妻関が兄の50回忌に建立した兄弟力士の石碑があり、実物大の手形も刻まれています。

ところで、私の母の実家は釈迦ヶ嶽兄弟の子孫になります。私が母の実家に行くと、小学生低学年の頃までは、祖父母は御先祖様の兄弟力士の石碑に私を連れて行き、巨大な手形に私の手を重ねさせて、「元気で大きくなれ、大きくなれ」と大声で唱えたものでした。また祖父母からは、様々な兄弟力士の昔話を聞きました。その都度、江戸時代がなにかしら身近なもののようにも感じました。

こうしたこともあり、私は栃若時代以来の大相撲のファンです。

大相撲は古事記、日本書紀に野見宿禰、當麻蹶速の神話の記述があるように、長い歴史があります。江戸時代に全国で勧進相撲が開催されるようになり、庶民の娯楽として広まりました。その後、ルール、制度の変遷を経て現在の姿になったのは昭和です。例えば、昭和3年ラジオの実況放送開始が立ち合いの制限時間の導入などをもたらしました。

今、新型コロナウイルス感染症は大相撲の在り方にも影響を与えています。少子化などの様々な社会的な変化も今後の大相撲の有り様に少なからず影響することでしょう。国技といわれる大相撲が今後とも皆に楽しみを与える日本の文化としてあり続けることを願っています。

（保証協会）

新入会員紹介



氏名	山崎 徹
入会日	2020年9月2日
推薦者	櫻井誠己会員、原田光明会員